Kubota

５７８９－０１３２７－１

データキャリア　計量履歴　送信手順書

適用製品型式
KL-DT2-IS / KL-DT-IS
（KL-IS シリーズ／KL-100NX-IS-D シリーズ用）

はじめに

このたびは、クボタ製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

●この手順書は、データキャリアに記憶した計量履歴をお客様のパソコンに送信いただくための手順書です。 また、パソコンに取り込むためのサンプルプログラム（弊社提供）をご使用になる場合の手順を示しています。
本機能をお使いになる前に熟読され、よくご理解のうえ、
「正しい操作・正しい管理」をお願いいたします。

●製品改良のため、本書の内容とお届けする製品の仕様が一部異なる場合があります。また、本書は万全を期して作成しておりますが、万一の誤記、記入漏れ、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、購入された販売店または弊社サービス窓口にお問い合わせください。また、その結果によって発生した影響につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。

●本書の著作権は株式会社クボタに所属します。本書の一部または全部について弊社に許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で転載・複写・複製することを禁止します。

●いかなる場合であっても、弊社は本製品を使用した結果生じる損失、逸失利益などの損害について、一切の責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

株式会社クボタ

<目　次>

１．準備　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
　１－１）パソコンと接続ケーブルの準備（ＵＳＢポート使用）　・・・・　２
　１－２）ＵＳＢデバイスドライバーのインストール　・・・・・・・・・・　３
　１－３）シリアルポート（ＣＯＭポート番号）の確認　・・・・・・・・・　３
　１－４）サンプルプログラムのダウンロード　・・・・・・・・・・・・・　７
　１－５）データキャリアの通信設定の確認・変更　・・・・・・・・・・・　８
　１－６）パソコンとデータキャリアの接続（ＵＳＢポート使用）　・・・　９

２．計量履歴の取り込みと保存・印刷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　２－１）パソコン通信データとプリンタ通信データ　・・・・・・・・・　１０
　２－２）パソコン通信データフォーマットでの取り込み　・・・・・・・　１１
　２－３）プリンタ通信データフォーマットでの取り込み　・・・・・・・　１４

※本手順書の中で使用しているＵＳＢコンバータオプションをご用命の際は、
　次の型番をご連絡ください。
　　　USBコンバータオプション　弊社型番：５３ＸＤＴＵＳＢＪ０

１．準備

サンプルプログラムを利用した計量履歴を取り込む前の準備について、説明します。

１－１）パソコンとの接続ケーブルの準備（ＵＳＢポート使用）

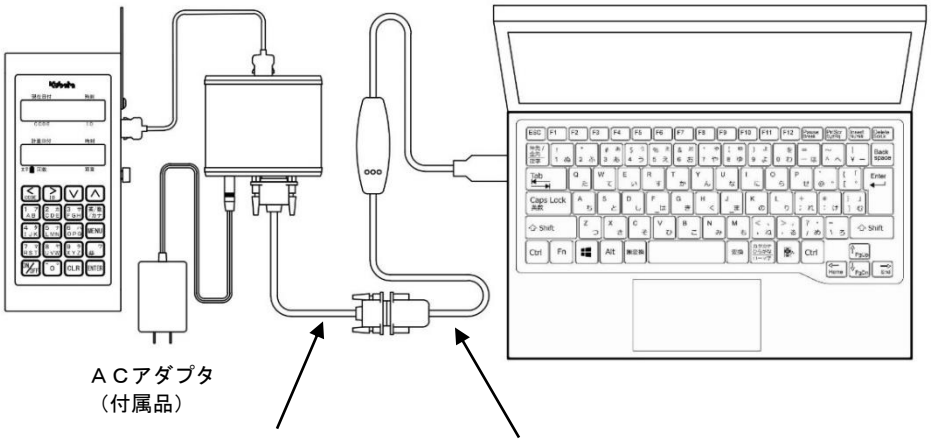
弊社ＵＳＢコンバータオプションをご利用ください。

【ＵＳＢコンバータオプションの内容】

ＵＳＢシリアルコンバータ REX-USB60F（ラトックシステム株式会社）　　１個

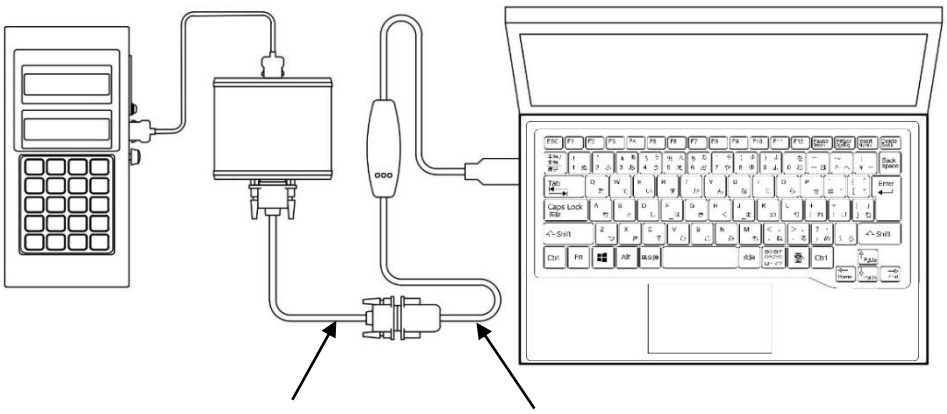
ＲＳ２３２Ｃクロスケーブル０．７５ｍ　KRS-403XF-07K2（サンワサプライ株式会社）　１個

＜ＫＬ－ＤＴ２－ＩＳの場合＞



ＲＳ２３２Ｃクロスケーブル　　ＵＳＢシリアルコンバータ
（ＵＳＢコンバータオプション）

＜ＫＬ－ＤＴ－ＩＳ／ＫＬ－ＤＴ－ＩＳ－Ｅの場合＞



ＲＳ２３２Ｃクロスケーブル　　ＵＳＢシリアルコンバータ
（ＵＳＢコンバータオプション）

１－２）ＵＳＢデバイスドライバーのインストール

ＵＳＢシリアルコンバータ（REX-USB60F）の取扱説明書に従って、ＵＳＢデバイスドライバーをインストールします。

ＵＳＢデバイスドライバー取扱説明書

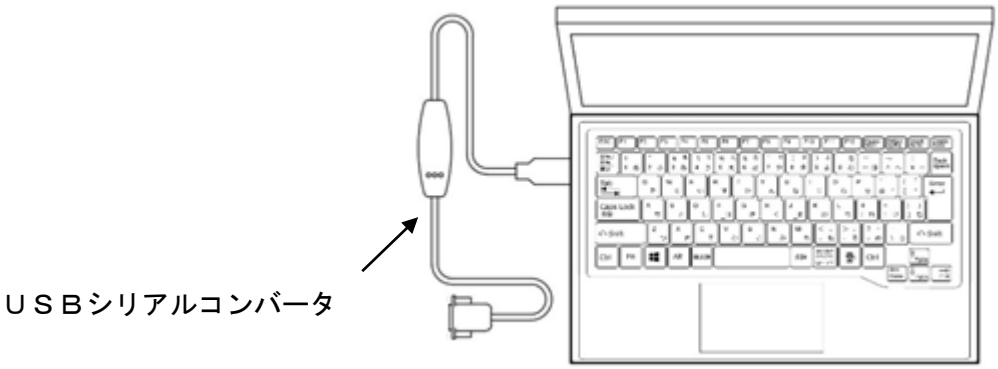
http://www.ratocsystems.com/services/manual/rs232c.html

※以降は、Windows10 の画面で説明します。

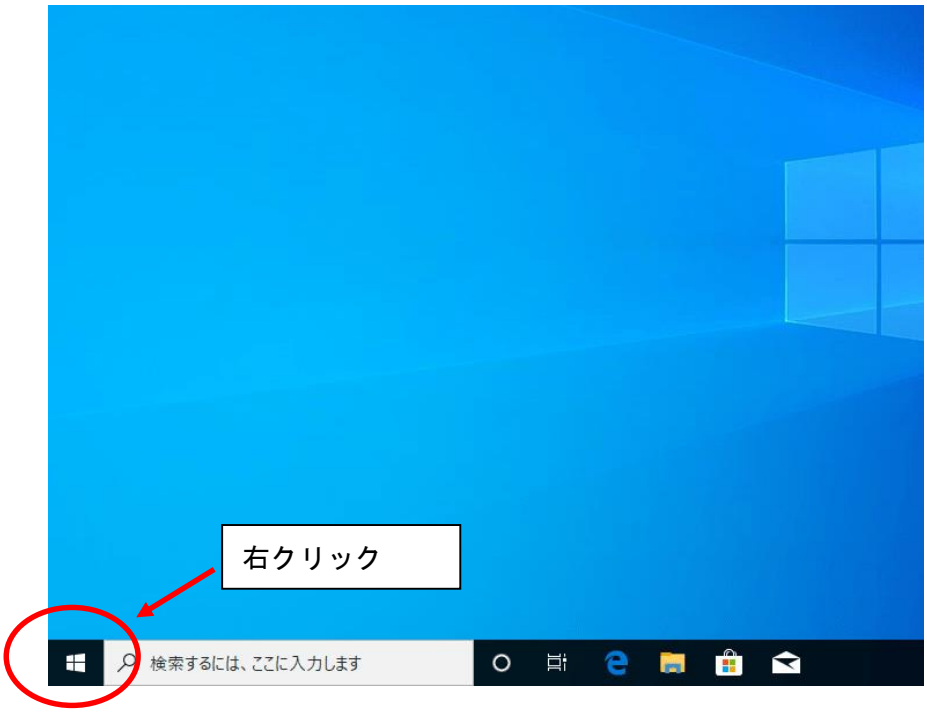
１－３）シリアルポート（ＣＯＭポート番号）の確認

ＵＳＢデバイスドライバーが正常にインストールされたかを確認します。
また、後ほどサンプルプログラムの通信条件設定で入力する「通信ポート番号」を確認します。

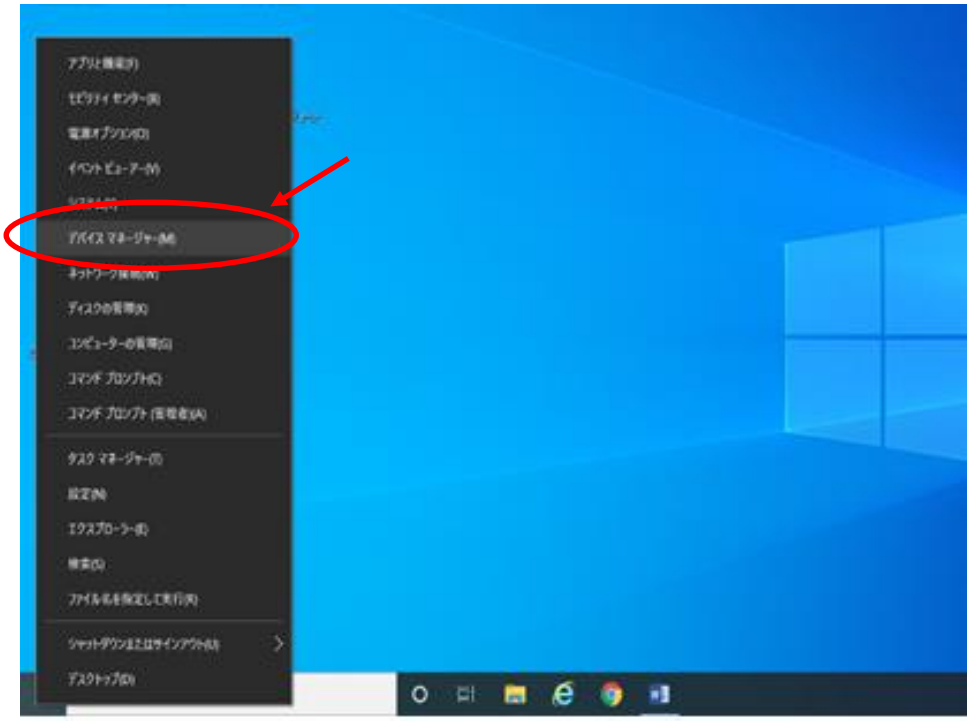
①ＵＳＢシリアルコンバータをパソコンに接続します。



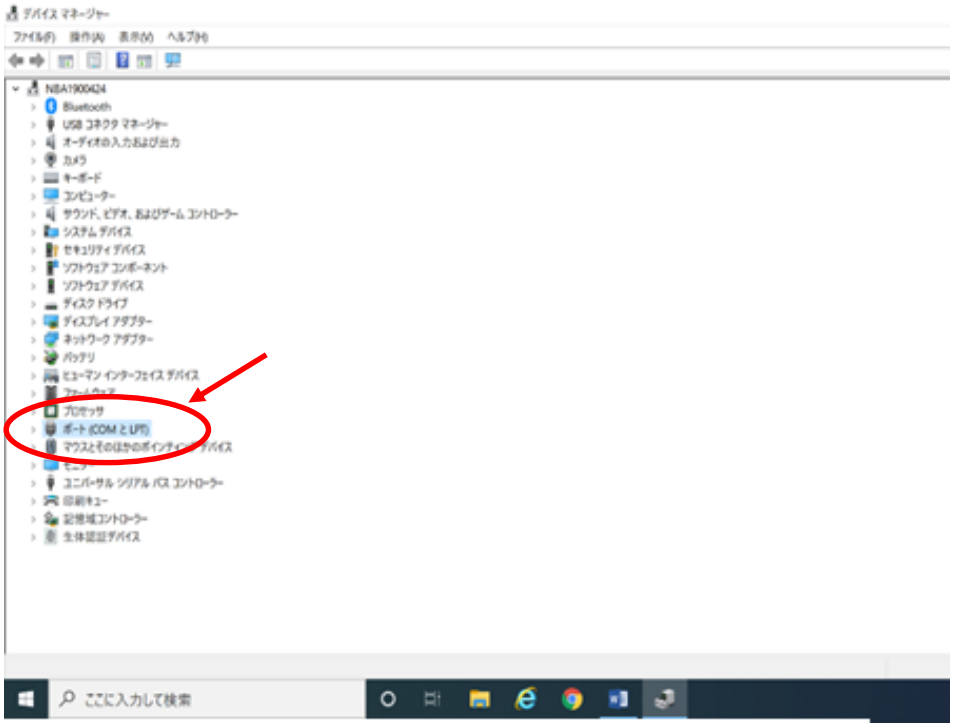
②Ｗｉｎｄｏｗｓのスタートボタンを右クリックします。



③「デバイスマネージャー（M）」を選択し、クリックします。



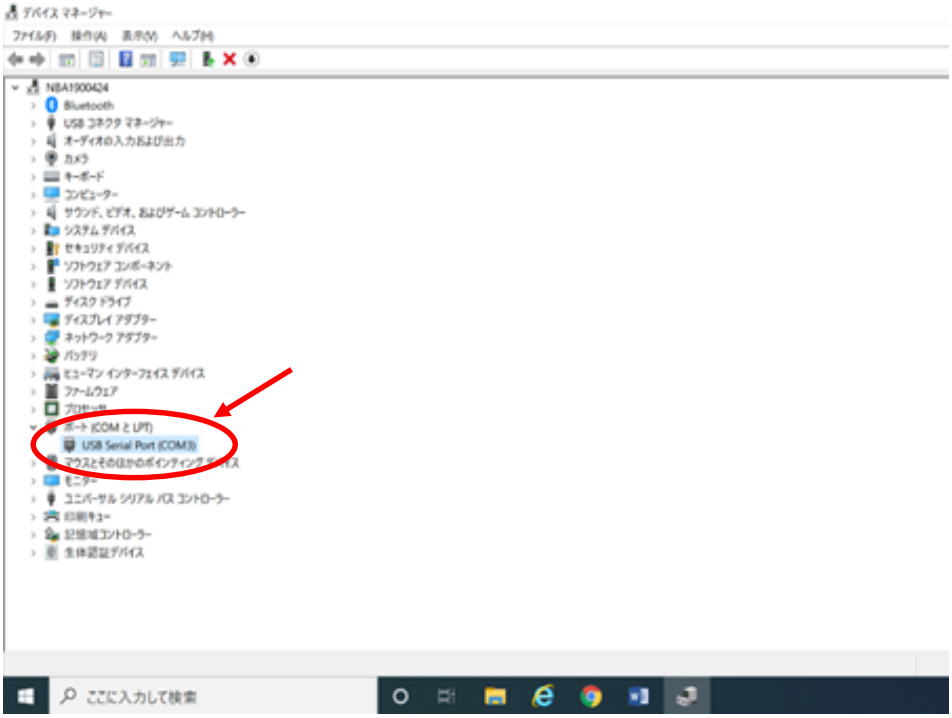
④「ポート（ＣＯＭとＬＰＴ）」を選択し、クリックします。



⑤「ＵＳＢ　Ｓｅｒｉａｌ　Ｐｏｒｔ（ＣＯＭ＊）」が表示されます。

※”＊”がＵＳＢシリアルコンバータのＣＯＭポート番号です。

※表示されない場合、ＵＳＢシリアルコンバータの接続または、ＵＳＢデバイスドライバーのインストールを再確認してください。

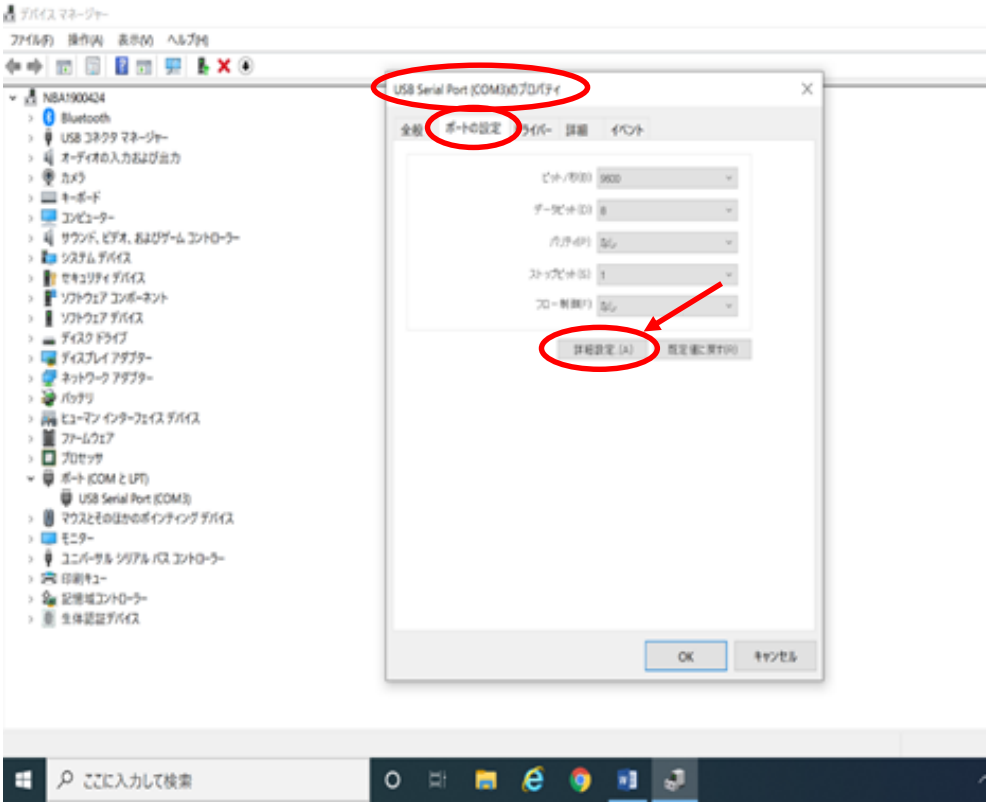


注）ＣＯＭポート番号を変更する場合は、以下の手順で実施してください。

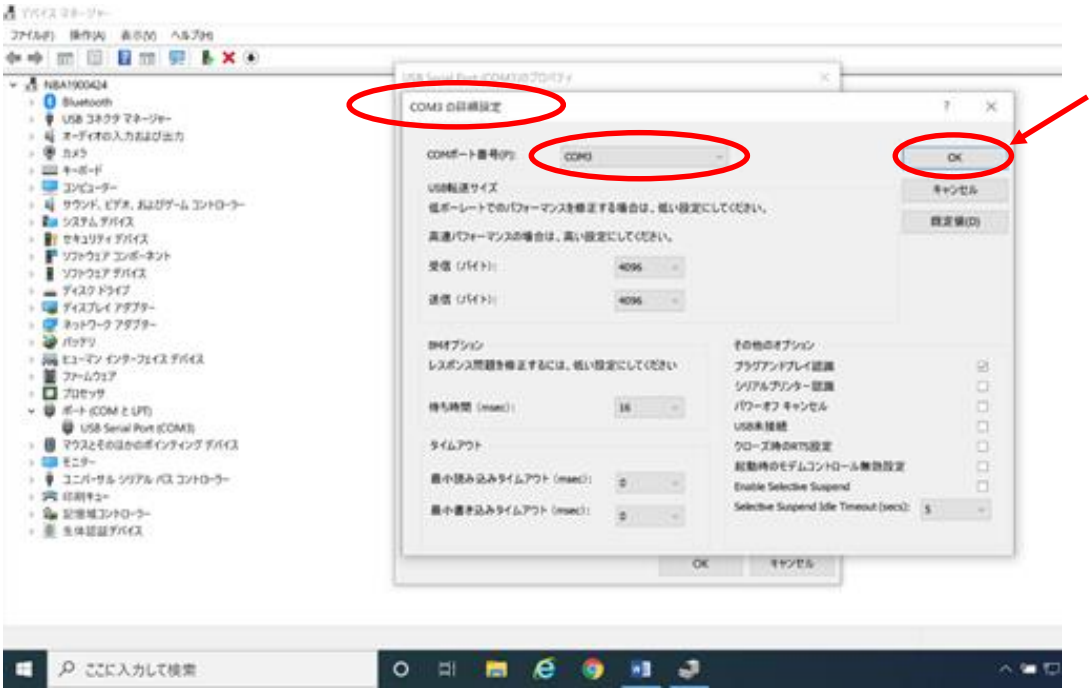
「ＵＳＢ　Ｓｅｒｉａｌ　Ｐｏｒｔ（ＣＯＭ＊)」をダブルクリックします。

「ＵＳＢ　Ｓｅｒｉａｌ　Ｐｏｒｔ（ＣＯＭ＊）のプロパティ」画面が表示されます。

「ポートの設定」タブを選択し、「詳細設定（Ａ)」を選択し、クリックします。



表示された「ＣＯＭの詳細設定」画面の”ＣＯＭポート番号（Ｐ)”より変更し、「ＯＫ」ボタンをクリックします。



１－４）サンプルプログラムのダウンロード

データキャリアに記憶した計量履歴をパソコンに取り込むためのサンプルプログラムを準備しています。ご利用になる場合、弊社ホームページよりダウンロードしてください。

① https://scale.kubota.co.jp/customersupport/download.html　を入力します。

② 製品名を選択して「ファイルダウンロード」をクリックします。

製品名		取扱説明書（セットアップマニュアル）	仕様書	サンプルアプリケーション
台はかり	KL-100シリーズ			ファイルダウンロード
	KL-100NR（IP）シリーズ			ファイルダウンロード
	KL-100NX（IP）シリーズ			ファイルダウンロード
	KL-BF/SD/IPシリーズ			ファイルダウンロード
防爆はかり	KL-ISシリーズ			ファイルダウンロード
	KL-100NX-K-IS-Dシリーズ			ファイルダウンロード
	KL-100NR-IS-Dシリーズ			ファイルダウンロード
	K2-EP-Eシリーズ			ファイルダウンロード
	FC-EX IR /FC-EX-S IR シリーズ			ファイルダウンロード

③ 「ダウンロード」をクリックして、サンプルプログラムをダウンロードしてください。

＜注意事項＞
サンプルプログラムが取り込めない場合は、パソコンのセキュリティレベルを下げてください。
また、ご使用中のウィルス対策ソフトによっては、取り込めない場合があります。

１－５）データキャリアの通信設定の確認・変更

データキャリアの機能設定画面にて、パソコン通信／プリンタ通信関連の設定を確認・変更します
通常は、初期設定値をそのままご使用ください。
「F20. パソコン通信　接続設定」と「F30. プリンタ　接続設定」以外の設定値は変更可能です。

※以下の表は、弊社サンプルアプリケーションプログラムを使用された場合の設定です。
※機能設定の変更方法については、データキャリアの取扱説明書をご参照ください。

＜パソコン通信データ受信関連　初期設定値＞

No.	機能	メッセージ	設定値	初期値
F20	パソコン通信　接続設定	ｽﾄﾘｰﾑﾎﾟｰﾄ	(新)KL-DT2-IS　：　0に固定	0
			KL-DT-IS　：　1に固定	1
F21	パソコン通信　通信速度	ｽﾄﾘｰﾑ ﾂｳｼﾝｿｸﾄﾞ	0：600　1:1200 2：2400　3：4800 4：9600　5: 19200	4
F22	パソコン通信　キャラクタ長	ｽﾄﾘｰﾑ ｷｬﾗｸﾀﾁｮｳ	0：7bit 1：8bit	1
F23	パソコン通信　パリティビット	ｽﾄﾘｰﾑ ﾊﾟﾘﾃｨ	0：無 1：奇数（ODD） 2：偶数（EVEN）	0
F24	パソコン通信　ストップビット	ｽﾄﾘｰﾑ ｽﾄｯﾌﾟ	0：1bit 1：2bit	0
F25	パソコン通信　ターミネータ	ｽﾄﾘｰﾑ ﾀｰﾐﾈｰﾀ	0：CR 1：LF 2：CR+LF	2

＜プリンタ通信データ受信関連　初期設定値＞

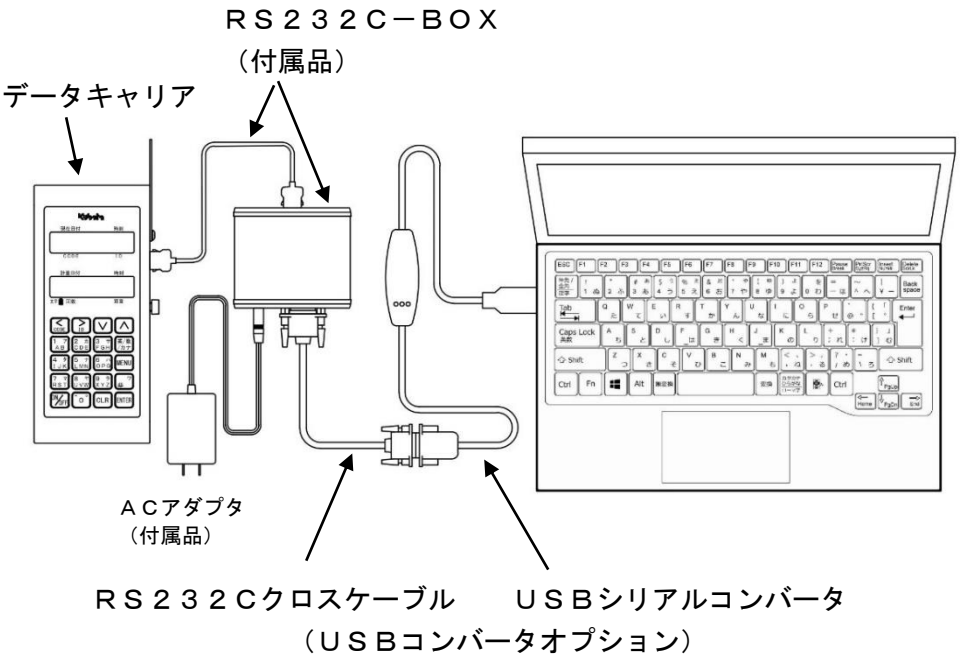
No.	機能	メッセージ	設定値	初期値
F30	プリンタ　接続設定	ﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ	(新)KL-DT2-IS　：　0に固定	0
			KL-DT-IS　：　1に固定	1
F31	プリンタ　通信速度	ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾂｳｼﾝｿｸﾄﾞ	0：600　1:1200 2：2400　3：4800 4：9600　5: 19200	3
F32	プリンタ　キャラクタ長	ﾌﾟﾘﾝﾀ ｷｬﾗｸﾀﾁｮｳ	0：7bit 1：8bit	1
F33	プリンタ　パリティビット	ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾊﾟﾘﾃｨ	0：無 1：奇数（ODD） 2：偶数（EVEN）	0
F34	プリンタ　ストップビット	ﾌﾟﾘﾝﾀ ｽﾄｯﾌﾟ	0：1bit 1：2bit	0
F35	プリンタ　ターミネータ	ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾀｰﾐﾈｰﾀ	0：CR 1：LF 2：CR+LF	1

※通信設定を変更した場合は、データキャリアの電源を再起動してください。

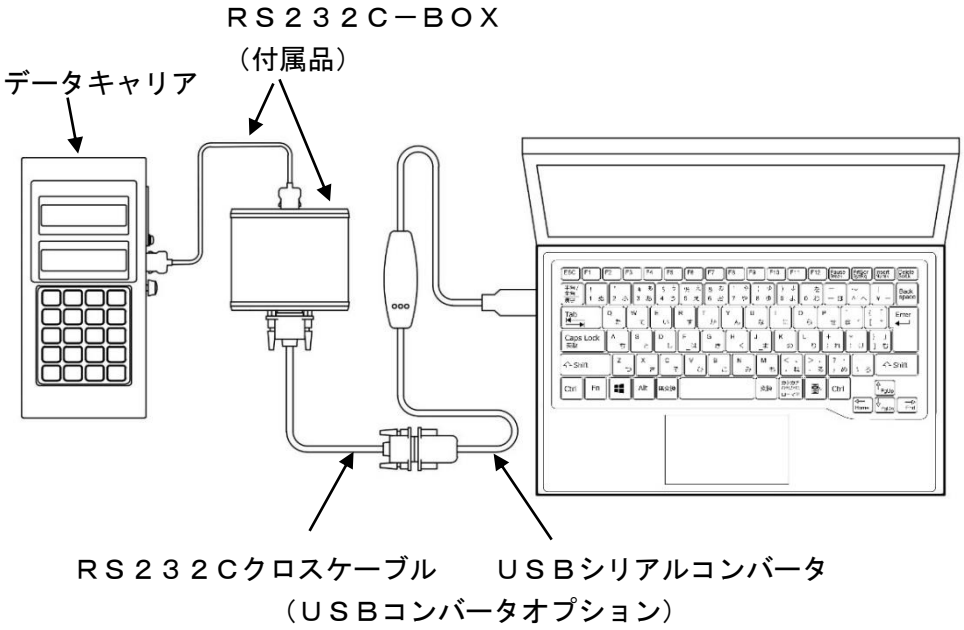
１－６）パソコンとデータキャリアの接続（ＵＳＢポート使用）

パソコンとデータキャリアは以下の手順で接続してください。

①データキャリアの電源をＯＦＦにします。
②下図のように接続します。
　＜ＫＬ－ＤＴ２－ＩＳの場合＞



　＜ＫＬ－ＤＴ－ＩＳ／ＫＬ－ＤＴ－ＩＳ－Ｅの場合



③データキャリアの電源をＯＮにします。

２．計量履歴の取り込みと保存・印刷

サンプルプログラムを利用した計量履歴の取り込みと保存、印刷方法について、説明します。

２－１）パソコン通信データとプリンタ通信データ

計量履歴は、パソコン通信データとプリンタ通信データの２種類のフォーマットで取りこむことができます。
どちらのフォーマットをご利用になるかにより、以降で説明する通信条件設定が異なりますので、ご注意ください。

＜パソコン通信設定の場合＞（通常、こちらを使用します）

ｍｅｍｏ

登録番号	計量日付	計量時刻	回数	ﾃﾞｰﾀｷｬﾘｱCODE	ﾃﾞｰﾀｷｬﾘｱID	計量値	風袋値	ﾊｶﾘNo
1	2019/11/21	09:39	1	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
2	2019/11/21	09:40	2	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
3	2019/11/21	09:40	3	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
4	2019/11/21	09:40	4	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
5	2019/11/21	09:40	5	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
6	2019/11/21	09:40	6	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
7	2019/11/21	09:40	7	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
8	2019/11/21	09:40	8	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
9	2019/11/21	09:40	9	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
10	2019/11/21	09:40	10	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
11	2019/11/21	09:40	11	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
12	2019/11/21	09:41	12	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
13	2019/11/21	09:41	13	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
14	2019/11/21	09:41	14	123456	123456	126.5 g	0 g	1234
15	2019/11/21	09:41	15	123456	123456	126.5 g	0 g	1234

＜プリンタ通信設定の場合＞

ｍｅｍｏ

印刷フォーム

```
**********************
DATE  2000/01/02
TIME  05:19
************************
No.  CODE      WEIGHT
0001 123456     126.5 g
0002 123456     126.5 g
0003 123456     126.5 g
0004 123456     126.5 g
0005 123456     126.5 g
0006 123456     126.5 g
0007 123456     126.5 g
0008 123456     126.5 g
0009 123456     126.5 g
0010 123456     126.5 g
0011 123456     126.5 g
0012 123456     126.5 g
0013 123456     126.5 g
0014 123456     126.5 g
0015 123456     126.5 g
```

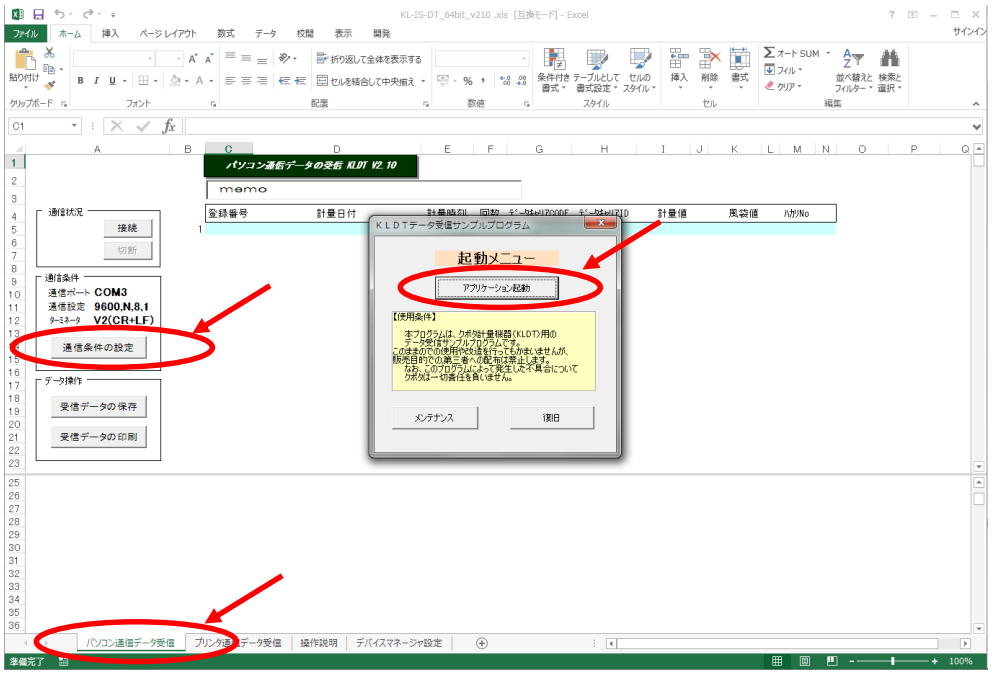
２－２）パソコン通信データフォーマットでの取り込み

サンプルプログラムを使用して、パソコン通信データのフォーマットで計量履歴を取り込みます。

①ダウンロードしたサンプルプログラム（Ｅｘｃｅｌファイル）を開きます。

※”コンパイルエラー”が出て、ファイルが開かない場合は、ダウンロードしたファイルをパソコンのデスクトップ画面に一旦コピーしてから、再度お試しください。

②「アプリケーション起動」ボタンをクリックし、**「パソコン通信データ受信」**のタブを選択してから、「通信条件の設定」ボタンをクリックします。

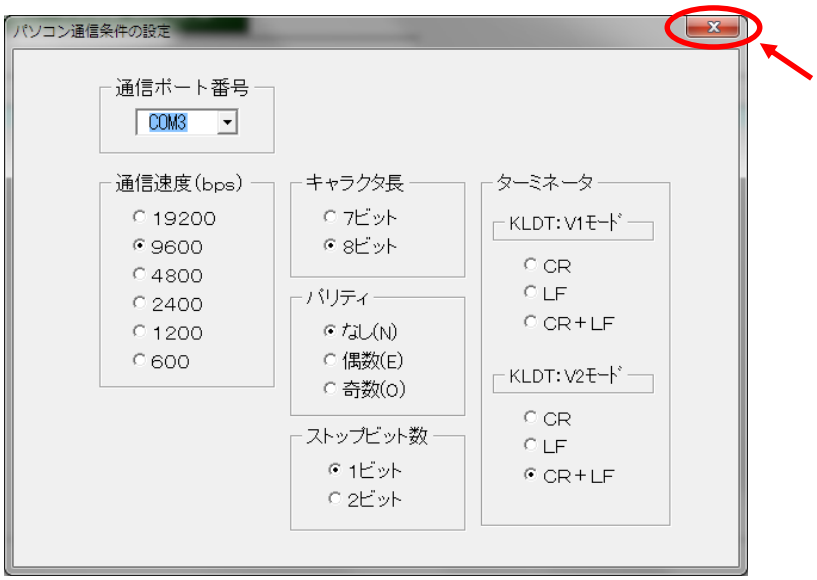


③先に確認した通信ポート番号の値を入力します。また、データキャリアで選択されているモード（”Ｖ２モード”または”Ｖ１モード”）を選択します。（例は、”Ｖ２モード”を選択した場合）

※どちらもターミネータは”ＣＲ＋ＬＦ”です。

その他の設定は、データキャリアの初期設定に合わせています。

※データキャリアの設定を変更した場合は、こちらの設定値も併せて変更してください。

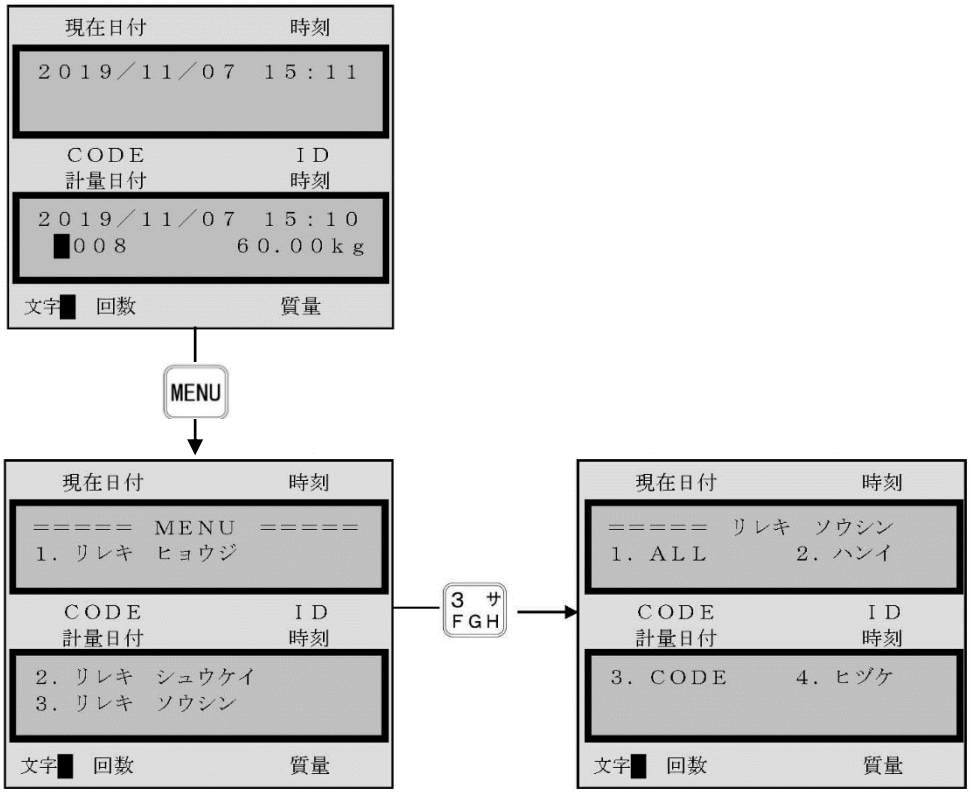


設定が完了したら、「×」ボタンをクリックして、「パソコン通信条件の設定」閉じます。

④「接続」ボタンをクリックします。

⑤データキャリアからデータを送信します。

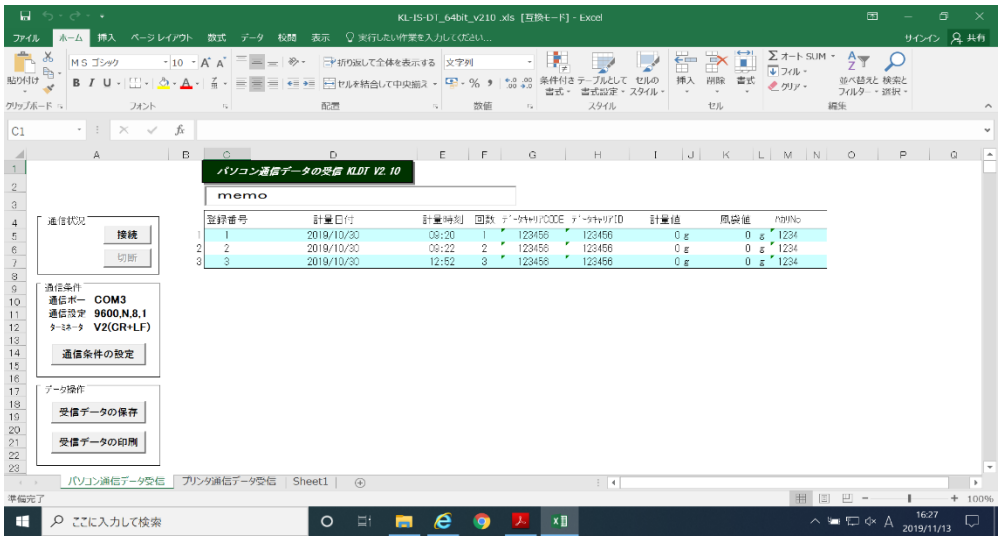
ＭＥＮＵ画面から「３．リレキ　ソウシン」を選択し、以下の操作で実行してください。



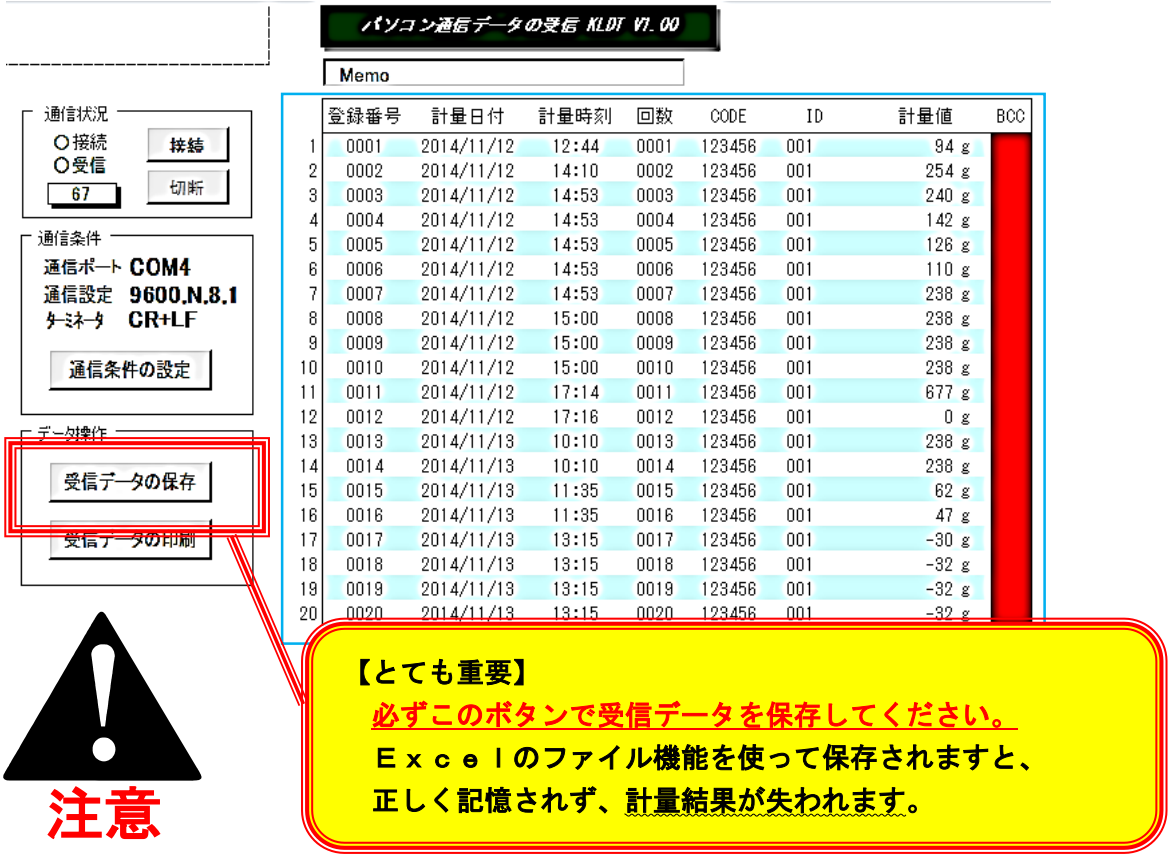
履歴表示と同様に、（１．ＡＬＬ　２．ハンイ　３．ＣＯＤＥ　４．ヒヅケ）の
どれかを選択して、ＡＬＬ以外はハンイ、ＣＯＤＥ、又はヒヅケの設定を入力後、

ENTER キーで送信開始します。

⑥記憶された計量履歴の送信が始まります。
パソコン側で受信データが表示されることを確認してください。



⑦データの受信が終了したら、「受信データの保存」ボタンをクリックしてください。
サンプルプログラムと同じフォルダに date 名（日付名）のフォルダが作成され、その中にＣＳＶ形式のデータが保存されます。



※「受信データの印刷」ボタンをクリックすると、印刷の設定画面が表示されます。
使用するプリンター等を設定いただくと、受信データを印刷できます。

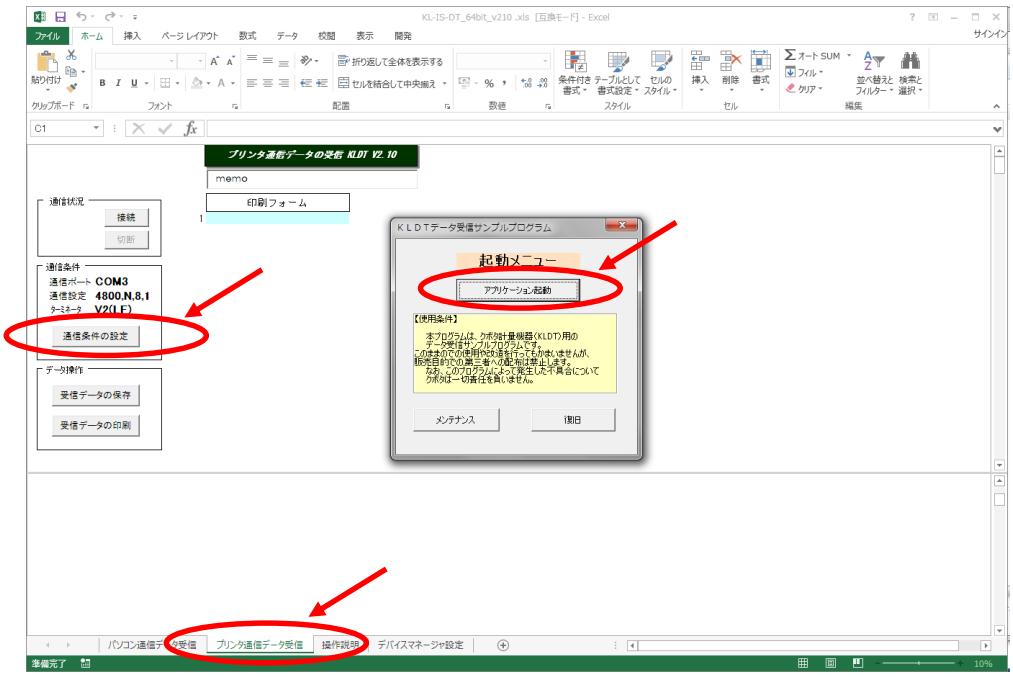
２－３）プリンタ通信データフォーマットでの取り込み

サンプルプログラムを使用して、プリンタ通信データのフォーマットで計量履歴を取り込みます。

①ダウンロードしたサンプルプログラム（Ｅｘｃｅｌファイル）を開きます。

※”コンパイルエラー”が出て、ファイルが開かない場合は、ダウンロードしたファイルをパソコンのデスクトップ画面に一旦コピーしてから、再度お試しください。

②「アプリケーション起動」ボタンをクリックし、**「プリンタ通信データ受信」**のタブを選択してから、「通信条件の設定」ボタンをクリックします。

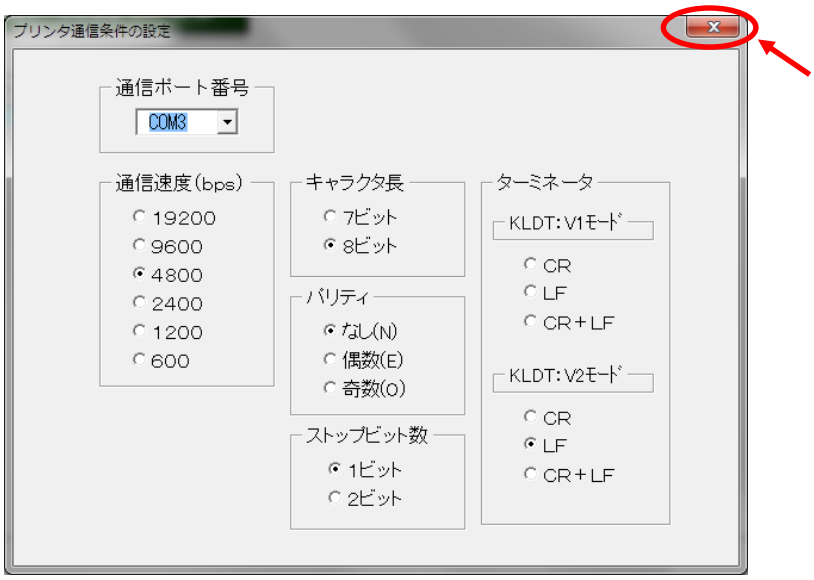


③先に確認した通信ポート番号の値を入力します。また、データキャリアで選択されているモード（”Ｖ２モード”または”Ｖ１モード”）を選択します。（例は、”Ｖ２モード”を選択した場合）

※どちらもターミネータは”ＬＦ”です。

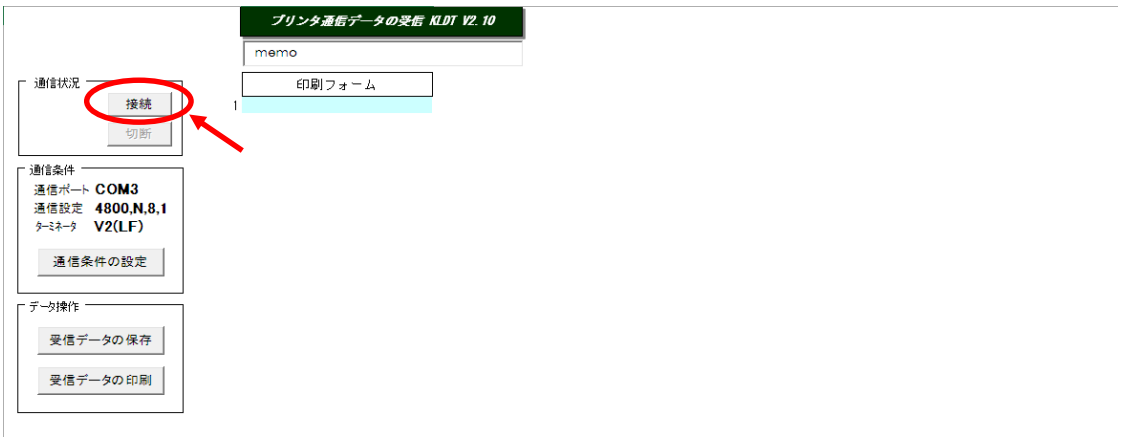
その他の設定は、データキャリアの初期設定に合わせています。

※データキャリアの設定を変更した場合は、こちらの設定値も併せて変更してください。



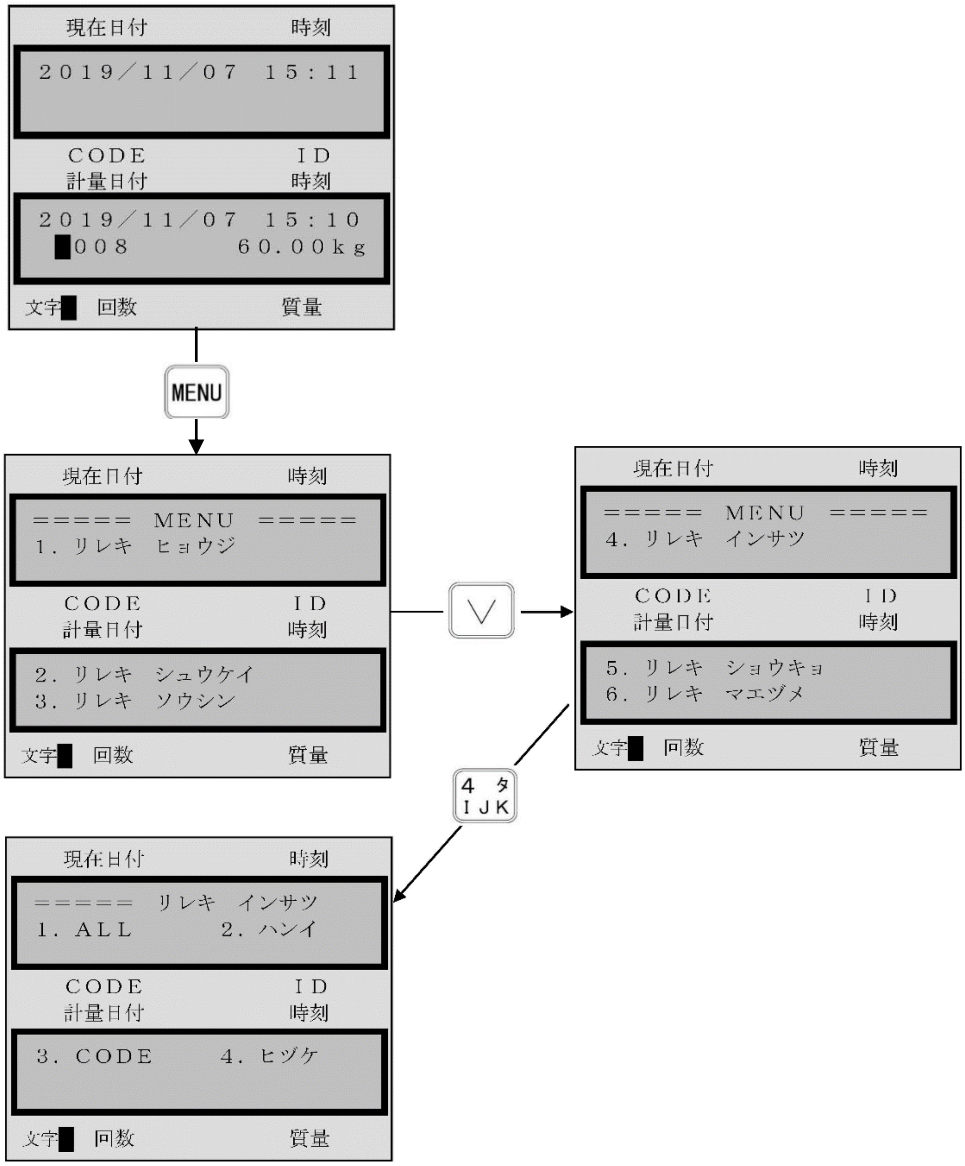
設定が完了したら、「×」ボタンをクリックして、「プリンタ通信条件の設定」閉じます。

④「接続」ボタンをクリックします。



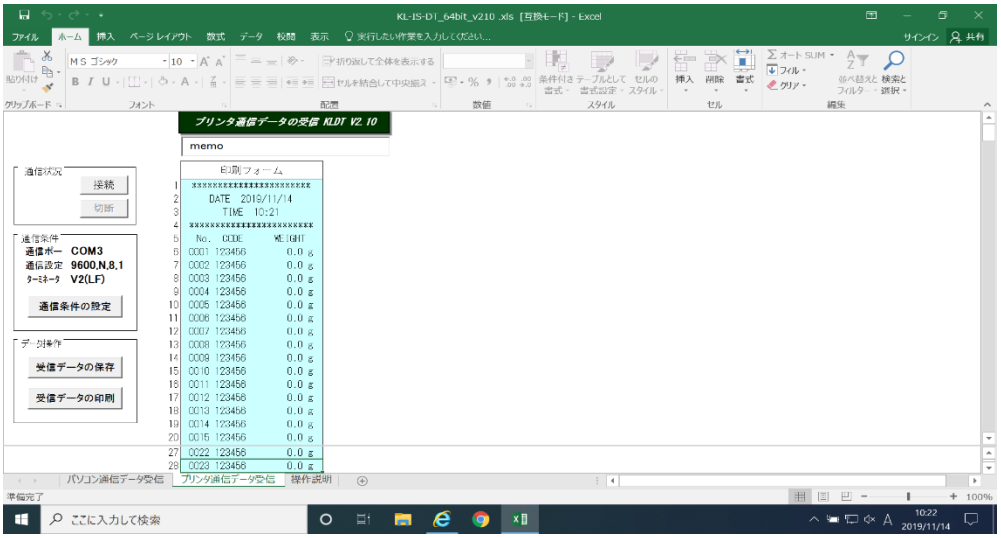
⑤データキャリアからデータを送信します。

ＭＥＮＵ画面から「４．リレキ　インサツ」を選択し、以下の操作で実行してください。

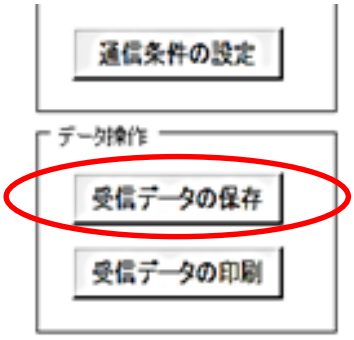


履歴表示と同様に、（１．ＡＬＬ　２．ハンイ　３．ＣＯＤＥ　４．ヒヅケ）のいずれかを選択して、ＡＬＬ以外はハンイ、ＣＯＤＥ、又はヒヅケの設定を入力後、ENTERキーで送信開始します。

⑥記憶された計量履歴の送信が始まります。
パソコン側で受信データが表示されることを確認してください。



⑦データの受信が終了したら、「受信データの保存」ボタンをクリックしてください。
サンプルプログラムと同じフォルダに date 名（日付名）のフォルダが作成され、その中にＣＳＶ形式のデータが保存されます。
※Excel のファイル機能を使って保存すると正しく記憶されず、計量結果が失われます。
必ず、「受信データの保存」ボタンをクリックして、計量履歴を保存してください。



※「受信データの印刷」ボタンをクリックすると、印刷の設定画面が表示されます。
使用するプリンター等を設定いただくと、受信データを印刷できます。

【製品型式】	【器　　番】

【販売店】

TEL :

FAX :

株式会社クボタ　精密機器事業ユニット

クボタお客様相談窓口＜コールセンター＞

0120－732－058（フリーダイヤル）

久宝寺事業センター　〒581－8686　大阪府八尾市神武町2番35号

クボタ計量器ホームページ

https://scale.kubota.co.jp/

20201001